

学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」

小方小通信

大竹市立小方小学校
令和6年6月14日
教頭

6月学校朝会 学校長の話

みなさん、おはようございます。

6月になりましたね。6月というとどんなイメージがありますか。校長先生は、そろそろ梅雨に入るなあ。蒸し蒸しする季節が来るなあというイメージをもっています。

こういう季節の変わり目、梅雨の季節は心も体も落ち着かなくなりがちです。

そこで、今日は学園目標シリーズの最終回、「かしこく、なかよく、たくましく」のうちの「たくましく」について話をします。

「たくましさ」が求められるのは、体だけではありません。心もたくましくすることが大切です。では、心や体をたくましくするにはどうしたらよいのでしょうか。体力を付けるためには、規則正しい生活をするのはもちろんですが、適度な運動や朝、昼、晩のごはんをきちんと食べるようにしてください。それから、成長期にある皆さんは、寝ている間に体が大きくなるそうですから、睡眠時間をしっかり取るようにしましょう。

心をたくましくするにはどうしたらよいと思いますか。心をたくましくするためには、自分一人では難しいと思います。友だちやクラスみんながお互いのことを思いやりながら、やさしい気持ちで接すること、それがみんなの心をやさしくしてくれて、たくましい心に育ててくれるのです。人は、一人では生きていくことができません。いつも「おかげさまで」という気持ちをもてる心、そういう人が、心がたくましい人だと校長先生は思います。

1学期も折り返しです。小方学園のみんなが「かしこく、なかよく、たくましく」なれるようにみんなでがんばりましょう。これで校長先生の話が終わります。



今年度の運動会は、例年より早く5月25日（土）に行われました。天候にも恵まれ盛大に開催することができました。「かしこく なかよく たくましく 一生懸命な姿が美しい」をスローガンに、どの競技においても一生懸命な児童の姿をご覧いただけたと思います。また、応援の仕方も、歌も、子供らしく一生懸命行っていました。まさに一生懸命が美しい児童の姿だったと思います。譲り合っ
てのご観覧、盛大なご声援ありがとうございました。行事を通して身に付いた力を今後の学校生活でも生かしていけるよう取り組んでいきます。PTA動員の草集めのご協力ありがとうございました。

小学校生活での最後の運動会となった6年生の「一致団結」の大玉送り。6年生は、競技のほかにも、放送係・準備係・決勝係・得点係と、運動会を支える大きな役割も責任をもって果たしてくれました。



小中連携 ～お手紙交流 その1～

小方学園は、施設一体型小中一貫教育校の強みを生かし、「理想の中学生像を描く小学生」「下級生に優しく接し、あこがれを抱くような中学生」の育成を目指し、さまざまな機会を捉え小中交流を行っています。5月は、「白ヤギさんプロジェクト～お手紙交流～」を行いました。小学1年生と中学3年生、小学2年生と中学1年生、小学3年生と中学2年生がペア学年となります。自己紹介やあいさつ、じゃんけんなどの遊びをした後、お手紙を交換しました。次回のお手紙交流は2学期を予定しています。



小学1年生と中学3年生の交流

川柳教室

今年度も、多くの俳句の選者をされている弘兼秀子先生を講師にお招きし、川柳を通して日常で感じたことを短い言葉で表現する力を身に付けられるよう指導していただきました。昨年度応募した「第47回全日本川柳2024年広島大会「ジュニアの部」」では、6年生のくんの入賞が内定しました。今年度も、「西日本川柳誌上大会」「県民文化祭」「テレビひるまえ直送便」に応募予定です。



4年1組での川柳教室

ティーボールでボール遊びしようや！

一般社団法人広島県高等学校野球連盟様から、広島県内482校の小学校・特別支援学校小学部に、ひと箱ずつティーボールを寄贈されました。「先に寄贈された大谷翔平選手のグローブを使って、まずは、軽くボール投げを始めることを通して、外で元気に楽しく日々を過ごしていただくと嬉しいです。このティーボールを使って遊んだ皆さんが、少しでも野球に興味を持ってもらい、将来一緒に高校野球に取り組めることを楽しみにしています！」と書き添えられていました。これまでは、学校に既存のティーボールを使用していましたが、今後寄贈者の意に沿うよう大切に活用させていただこうと思います。

